

松戸市民児協だより

# 愛の小鳩

2018/2  
No.56

編集と発行＝千葉県松戸市民生委員児童委員協議会（松戸市役所地域福祉課 047-366-3019） [年2回発行]

## さらなる一歩

北部市場跡地が、市内最初のショッピングセンターに!!



東京外環自動車道が  
市内を抜けて間もなく完成です



待望の新・市立病院が開設されました

### 今号の案内

- 平成29年度全体研修会・中堅研修  
松戸市福祉大会・千葉県社会福祉大会
- さらなる一歩 子どもの未来に向けて
- 各地区での特色ある活動(矢切・松戸・明第二)
- 委嘱されて一年 『今思うこと』
- 認知症になっても安心して暮らせる街へ  
「高齢者の見守りシール」の支給が始まりました
- 地震時計 大規模災害に備えましょう
- 活動のあしあと  
常盤平団地地区「いきいきサロン」
- 編集後記 訃報



# 平成29年度 第2回 全体研修会

平成29年11月28日、松戸市民会館で「民生委員制度創設100周年記念」と題されて、松戸市民生委員児童委員協議会による平成29年度第2回全体研修会が開催されました。

今回は、6月開催の石井淳子氏による第1回講演「これからの地域とともに！」に引き続き、「地域共生社会の実現に向けた我が事・丸ごとの地域づくり」をテーマとして、厚生労働省政策企画官の野崎伸一氏から、「地域共生社会」の背景とねらいと題し、地域共生社会づくりと民生委員児童委員への期待について講演いただきました。

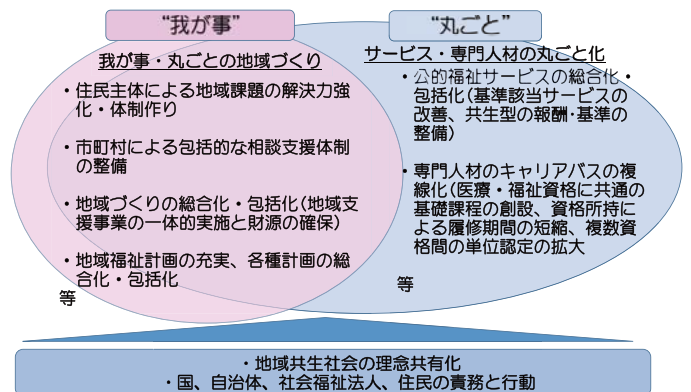


講演中の野崎伸一氏

なお、講演に先立ち、平川会長が民生委員制度の100年の歴史から今回の研修会の意義を述べられ挨拶されました。講演の内容は、社会の状況と社会保障制度の変遷から、生涯生活を支える保健・医療制度と社会保障・労働制度、そして「自助」と「互助」を前提としたもとの「共助」と「公助」を制度として拡充する考え方を示されました。そして、これからの福祉のあり方として、「地域共生社会」の考え方を示され、民生委員もこれまでの支援や行政とのつなぎ役から、医療・福祉の事業者などと多様な地域づくりに取り組み、地域での見守りができるようにしてほしいと、全国各地で試みられているアクションの実例を紹介されました。この各地の実践例への関心が高いためか、受講者からその具体的な内容について多くの質問がなされていました。結果として、今後の活動にも資するところができる有意義な研修ができたものと思えます。みなさん、いかがだったでしょうか。



「地域共生社会」実現の全体像イメージ（たたき台）



厚生労働省 第1回(28.7.15)「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部 資料2 参照

## 第35回 松戸市福祉大会

平成29年9月30日松戸市民会館にて「社協創立65周年記念大会」として第35回松戸市福祉大会が開催されました。今回、民生委員児童委員功労者として

- |        |        |
|--------|--------|
| 新松戸地区  | 木村久仁江氏 |
| 明第二地区  | 小森 聡子氏 |
| 常盤平岡地区 | 曾宮 孝子氏 |
| 新松戸地区  | 中井 昭彦氏 |
| 五香地区   | 弓削 俊雄氏 |
- の5名の方が表彰されました。おめでとうございます。

贈呈式の後、記念イベントとしてチエロ・ピアノ演奏、中野七頭舞、ギター・ピアノ演奏と歌が披露されました。

## 平成29年度 千葉県中堅 民生委員児童委員講座

平成29年11月10日松戸商工会議所大会議室において千葉県中堅民生委員児童委員講座が開催されました。「民生委員・児童委員の訪問活動」のテーマで、東京成徳大学准教授 朝比奈朋子氏による講義・演習が、各グループにわかれて自己紹介も含めて行われました。

民生委員・児童委員が地域住民の様々な相談に依じていくため、社会福祉に関する制度の基本的な知識や相談援助技術等、新たに習得すべき事項は多岐にわたっています。特に中堅民生委員・児童委員には、本研修を通じて、生活困窮者等への相談・支援に関する学習を深め、地域社会の福祉の向上に資することが大切だと思われれます。

## 第67回 千葉県社会福祉大会

平成29年11月14日千葉県文化会館において「第67回千葉県社会福祉大会」が開催されました。

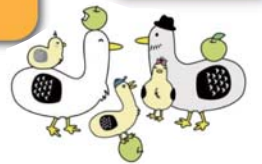
今回、社会福祉事業功労者として松戸地区 小島可代子氏  
小金南部地区 若林 圭子氏  
明第四地区 鈴木 艶 氏  
当民児協監事 野本 敏子氏  
の4名の方が、千葉県知事より知事表彰が授与されました。おめでとうございます。

# さらなる一歩

## 子どもの未来に向けて

松戸市は広報まつど1598号に掲載されたように、「共働き子育てしやすい街ランキング2017全国編」で第1位を受賞しましたが、平成25年6月の国による「子ども貧困対策法」成立を受けて数々の検討がなされています。あわせて平成28年1月に市庁内で横断的に「子どもの未来応援検討チーム」が設置され、取り組みが始まりました。この取り組みを把握し理解するため、松戸市子ども部 審議監 胡内敦司氏にお話を聞き、広報委員と意見の交換や民生・児童委員に期待することなどを伺いました。

### 平成29年度からの本格的な取り組み



松戸の子育て応援マスコット「まつどり」家族

これまでの活動を踏まえて、次のような取り組みが進められています。

- ★教育相談事業（学校教育相談業務）  
中学校1校をモデル校とし、スクールソーシャルワーカーを学校に固定配置し、教育相談事業を充実
- ★ひとり親家庭支援事業（ひとり親家庭学習支援業務）
- ★生活困窮者自立支援事業（子どもの学習支援業務）
- ・六実会場追加で市内4ヶ所に拡大
- ・松戸駅周辺地区は対象者を高校生まで拡大

### 検討チームのこれまでの活動状況



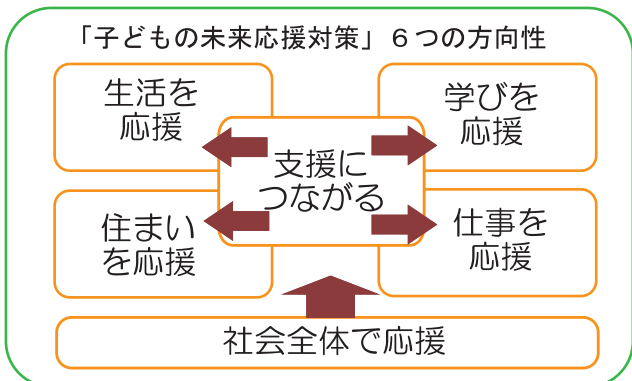
平成28年度は次のような活動をされました。

- ★庁内関係部署へのヒアリング
- ★ひとり親家庭アンケート実施
- ★支援者（専門職）のヒアリング実施
- ★先進的な市・区視察、勉強会開催
- ★貧困対策に有効と思われる情報収集
- ★「子どもの貧困について」職員向け人権研修会開催

- また、平成29年度からは本格的な活動が開始され、次のような取り組みが順次行われています。（予定を含む）
- ★平成29年4月から子ども部子ども家庭相談課の中に「子どもの未来応援担当室」を設置
- ★平成29年7月から「松戸市子どもの未来応援会議」を設置・開催
- ★「子育て世帯生活実態調査」を実施
- ★平成30年2月上旬「子どもの未来応援対策（案）」を公表予定

★平成30年1月15日「第4回松戸市子どもの未来応援会議」を開催、その後パートナー講座などにて説明予定

この取り組みの中で、松戸市の実態をより把握するために、平成29年9月に市内公立小学5年生、中学2年生の子ども全員に生活実態調査アンケート（子ども自身と親が回答）を実施し、現在集計中です。このアンケートは、専門機関にて分析し、松戸市子どもの未来応援会議での議論を踏まえて、今後の施策に反映していくとのことです。実施計画は何年間かという区切りではなく、より柔軟に対応して行き、今後の施策は左図の6つの方向性に沿って具体化していくとのことです。



出典：松戸市子どもの未来応援会議第1回の資料3「松戸市子どもの未来応援に関する概略について」より

### 民生委員・児童委員への期待

への期待



インタビューの様子

子どもの未来応援計画は、行政から諸計画が提示されても地域の方々の理解と協力が得られなければ具現化は難しく、活動の拠点は各地域です。地域をより知り得る立場の民生・児童委員の皆様のご協力はとても重要となり、今後は、子どもたちと関わる活動がこれまで以上に多くなると考えられます。子どもの未来を応援していくためにも、皆様には、行政・関係機関へのますますのご理解・ご協力をお願いいたします。

※インタビューを終えて※

市の取組みなど、有効な情報を沢山いただきました。今後、市の施策は順次具体化・整理される予定ですが、地域に密着している我々への期待も高いことが感じられました。

子ども関連だけでなく、「地域共生社会」実現に向けて知識を深め、見守りなどできることから積極的に取り組んでいきたいと感じました。



# 各地区での特色ある活動

## 矢切を歩こう

矢切地区は、皆さんご存じの「矢切の渡し」のある江戸川沿いから、上矢切、中矢切、下矢切、三矢小台、二十世紀が丘、柿ノ木台、大橋の一部などを含む広い地域です。住宅地域の他に崖や坂道、田畑、雑木林なども多く見られます。

矢切民児協（竹内恵子会長）では、右のような地域の特色を考慮し、年に一度、「矢切を歩こう」を七年前から実施しています。担当地域だけでなく矢切地区全体を知ることが目的です。計画などは防災部を中心に行います。まず、地域を三つに分けてコースを考え、都合のよい三日間を選び、計画を立てます。原則として、全員参加です。

歩く際は、次のような点に着目しています。

- ・崖崩れなど危険な箇所はないか
- ・通学路の安全は確保されているか
- ・新しく開発された住宅地域の様子はどうか



・問題を抱えている地域などの共通理解を図る  
・問題を抱えている地域などの共通理解を図る

実施後は、前述のような地域の実情を確認すると共に、地域地図に情報を記入します。内容は

- ① 独居高齢者
- ② 高齢者夫婦のみの世帯
- ③ 昼間独居
- ④ 寝たきり・障害のある方

主に以上の四点を色分けして地図に落としこんでいきます。

この地図を作成することにより、地域の実態を把握し、見守り活動に役立てることが出来ます。また、委員改選などにより担当者が変わった場合にも引き継ぎをスムーズにする事が出来ます。

青空の下、歩きながら委員同士の交流も深まります。

## 松戸地区では

◎交流会

毎年春に八十歳以上の一人暮らし及び八十歳以上の世帯をお招きして交流会を開催しています。皆様が参加しやすいように、松戸地区内六ヶ所の自治会館を利用して行います。高齢者いき

いき安心センターの方に来ていただき体操をしたり、お話を聞いたり、ゲーム・折り紙・工作・紙芝居・おしゃべり等、各民生委員が皆様に楽しんでいただけるように工夫しています。交流会を通して皆様顔なじみになり、とても和やかなひと時です。

◎一斉友愛訪問

毎年敬老の日前後で、八十歳以上の一人暮らしの方にお祝いを兼ねてささやかなプレゼントを用意して一斉に訪問しています。外に出る機会の少ない方にも喜んでいただいています。



## 明第二地区では

明第二地区では二か月に一度、自由参加でお互いに疑問・質問に答えたり、考えたり、経験を共有したり、また、皆が知りたい事等を学ぶ場として勉強会を続けています。

前回の勉強会は、デイサービス施設の生活相談員をされていた民生委員が講師となり実施しました。内容としては介護・福祉制度に関するものでした。高齢化の進展に伴い寝たきり、認知症等の介護を必要とする高齢者の増加、介護期間の長期化・重度化により介護の必要性、重要性が増大していることを受けて、

- ・要介護認定資格を取るための手順
  - ・認定区分の分類
  - ・サービスの種類
  - ・各施設に掛かる費用
- などについても詳しい内容の説明がされました。

内容は多岐にわたり難しい点もありましたが大変勉強になりました。今後、もさまざまな勉強会を計画しています。



引き受けた時の心境

- 安全・安心な町づくりに役立てるように頑張りたい
- 気負うことなく、支援する人と信頼関係を築いていきたい
- 住民の方から認知していただけるよう活動したい
- 情報提供をできるように、常に新しい情報を学び活用したい
- 地区長の指示を受けながら、住民の方に少しでも役に立つことができればと考え、三年間活動していきたい
- 地域のボランティアにも参加して少しでも町の皆様にお役にたてるよう活動していきたい
- 先輩に学び、人に寄り添いながら地域の中で頼りになる委員になれるよう勉強と行動を実践していきたい
- 誰かのためにお役に立てればと思って引き受けた
- 優しい心の風を吹かせ、心の架け橋の手伝いが出来るように努めたい
- 「俺がやらなければ誰がやる」と意気込んだ



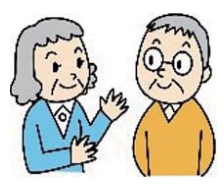
民生委員活動をして思ったこと

- 仕事をしているので、行事と両立ができるのか心配
- 責任重大な民生委員の仕事が不安
- 民生委員の仕事、どこまで接しているのか難しい
- 活動範囲が多岐にわたる。事例を的確に判断し、次へつなげ安心した生活を送れるようにしたい
- 核家族化が進み、地域社会の繋がりが希薄になっていく。支援が必要な人が埋没してしまい、いかにして手を差し伸べるのが課題
- 研修会や小中学校の行事に参加して仕事の重要さに気付いた
- 社会福祉関係の知識がなく、地域の相談相手として関係機関へのつなぎ役になっていないのではないだろうか
- 民生委員児童委員として、日々の活動内容がわからない
- 市からの書類、どのようにしたら良いか、わからなかった
- どこまでお助けするのかわからない
- 訪問回数を多くしようと思っっている
- 必要な事があれば、町会の方に何うようにしている
- 定例会で配布される資料を読み、勉強中
- 無理のない範囲で地域社会へ貢献出来るように頑張っている
- 高齢者への声掛け、月に一度行っている。留守宅にはメモを置いてくるようにしている。後ほど、「変わりないよ」の返事をいただくことがある
- 不安があったが、先輩の方に助けて頂きながら活動している
- 今まで気づかなかった新しい世界が開けました
- ご近所との声掛けが大切
- 市役所や包括支援センターにつなぎ、手探りで始まったが、最近では「たよりにしています。よろしく願っています。ありがとうございます」の励ましの言葉をいただくことがある
- 地域社会を強く牽引する存在となっていかなければならない
- 散歩しながら見守り、環境の変化に気付くようにしている
- 独自の省略語で話が進んでしまい、わからないことが多くて困った
- 事務手続き、申請のやり方、なぜ民生委員になったら寄付金集めをするのか、事前に聞いていない事もあり納得のいかぬまま当然やるべき事として処理される。また、聞いても人によって



これらは、何年も民生委員・児童委員として活動を続けている方々も新任の時は覚えがあるのではないでしょうか

そこで、「**新しい一歩**」として新任の講習として今までの民生委員としてのあり方や、理念を学習し、理解する事他に実際の活動に必要なとされる研修をするのはどうでしょうか



ご存知ですか？

# 「高齢者の見守りシール」の支給が始まりました

## 認知症になっても安心して暮らせる街へ



問 高齢者支援課 ☎366-7343

### 見守りシールとは

- ・携帯電話などで読み取ることのできる QR コードが印字されたシールで、高齢者の衣服や靴・鞆などの持ち物に貼って使います。
- ・行方不明となった高齢者を発見した人が QR コードを読み取ると、介護者と伝言板を通じてやり取りをすることができます。

白色・耐洗ラベルシール



100回の洗濯実験に耐えられています。貼り付けは、アイロン180℃にセットし、あて紙を挟み貼付ください。

黄色・蓄光ラベルシール



夜光性です。なお、アイロンの使用は不可です。

### シールの支給対象者

- ①認知症などで行方不明となり、防災行政用無線により探索されたことがある高齢者
- ②道に迷った、家が分からなくなった等により警察に連絡または保護されたことがある高齢者

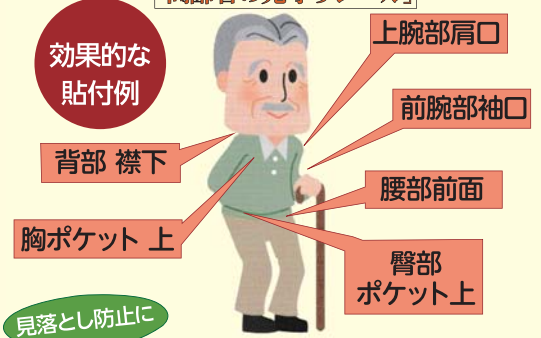
[支給枚数] 対象者1人につき50枚(白色40枚、黄色10枚) [費用] 無料

### 市民みんなで見守ろう

見守りシールが衣服などについている高齢者を発見・保護した際は、QRコードを取ることが迅速な対応につながります。ご協力をお願いします。

### 白色の耐洗ラベルシールの貼付

「高齢者の見守りシール」



目に付きやすいところに複数枚貼りましょう！

見守り高齢者・発見時、スマホでその方の見守りシールのQRコードを読み取り、メール発信 その後、伝言板でのやり取りを！  
なお、読み取りスマホは、インターネット環境での伝言板に接続が必要になります。



### どこシル伝言板登録シート

説明書1ページBの登録で使用する入力用のシートです

どこシル伝言板で保護対象者情報登録をするための入力用にご記入ください

記入日	年	月	日	保護対象者ID
<p><b>1 保護対象者のニックネーム</b> ※呼ばれて返事をしてもらえる愛称 ※個人情報の公開とならないよう、氏名(名字、名前にあらずとも)の登録は避けてください。 例: 『お父さん』『先生』等、ご自宅や職場で呼ばれていた愛称等</p>				
<p><b>2 生年月日(年月まで)</b>      西暦      年      月</p>				
<p><b>3 性別</b>      男      ・      女</p>				
<p><b>4 身体的特徴</b> 例: ①身長 150cm    ②中肉中背    ③眼鏡使用 ※身長や体型、メガネの有無、よく身につけるものなど、できるだけ詳しく記入します</p>				
<p><b>5 既往症</b>    例: ①認知症    ②糖尿病 ※今までにかかった大きな病気など入力します</p>				
<p><b>6 保護時に注意すべきこと</b> ※発見した方へのアドバイスとなります。症状に対する具体的な対応方法を記入します <b>Point!</b> 症状に対してのご記入ください 例: ・右耳が遠いので、左耳に話しかけてください ・「おじいさん」と話かけると怒りやすくなるので、「先生」と話しかけてください ・汗や震えがありましたら、低血糖の可能性があるので、所持している胎をぬめるように勤めてください</p>				
<p><b>7 発見通知メールアドレス</b> ※発見時に通知を受けるメールアドレスです 迎えに行くことが可能な方を3件まで登録できます(例: 主介護者、ご家族、介護支援専門員等)</p>				

見守り高齢者の登録シートとその伝言板申請に際しては、事前にご相談ください。

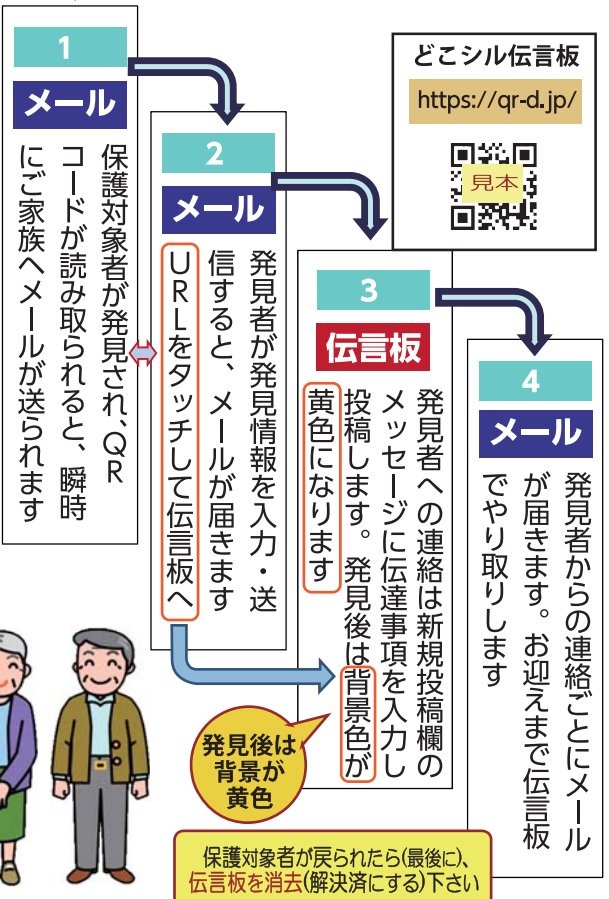
どこシル伝言板  
<https://qr-d.jp/>

見本

ログインID(登録メールアドレス)  
パスワードを記入しておきましょう

ログインID  
(登録メールアドレス)

パスワード



発見後は背景が黄色

保護対象者が戻ったら(最後に)、伝言板を消去(解決済にする)下さい

# 地震時計

# 大規模災害に

# 備えましょう

大きな地震が起こったら、あなたは何をしますか？

どこで、何をしますか？

家庭や学校、職場やデパート、電車やバス、自動車運転中など、いろいろな状況が考えられます

阪神淡路大震災でライフラインの全面復旧までの日数

水道	90日
電気	7日
都市ガス	84日

身を守るためテーブルの下に隠れる。

周囲の安全を確認する。  
・寝ている場合は、布団で頭をカバーする。



**火を止める、火を消す。**

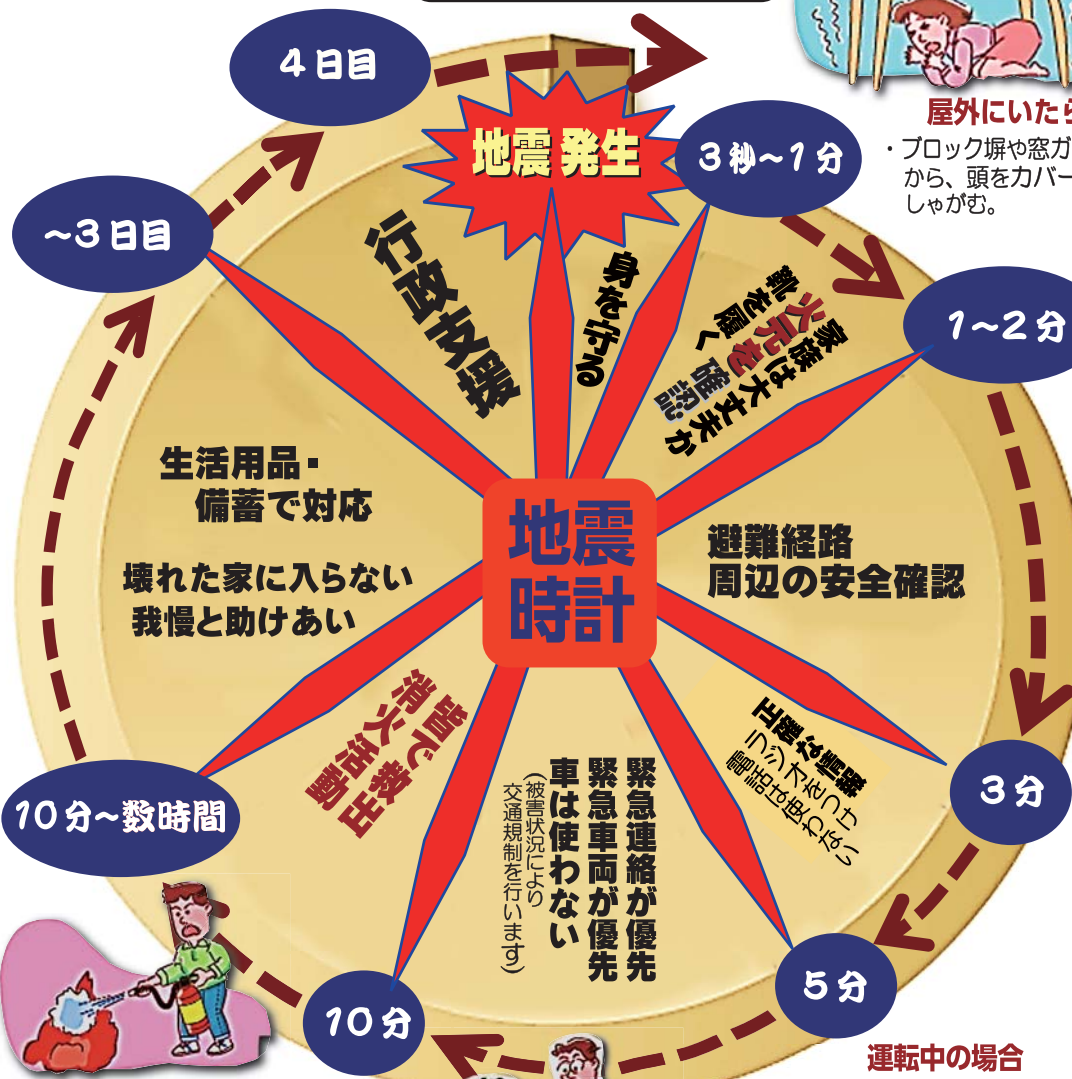
- ・ぐつぐつ煮えた鍋は、やけどする危険。
- ・大きな揺れが収まってからでも遅くありません。



屋外にいたら、

- ・ブロック塀や窓ガラス等から、頭をカバーしてしゃがむ。

海岸沿いでは、高い所に逃げる



**避難経路を確保する**

- ・ドアを開ける、しかし、すぐ飛びださない。
- ・火災では、煙が入ってくる。
- ・エレベータでは、直ぐに各階のボタンを押し最寄りの階で降り避難する。
- ・避難時には、必ずブレーカーを切ってください。

**屋外での注意**  
・ブロック塀、ビルの看板、ガラスの破片、落下物、電線など足元に注意。



**運転中の場合**  
・左側に止め、ラジオを聴いて、情報を得る。  
・キーはつけておく。



## 避難のタイミング

※避難時には、必ずブレーカーを切ってください。

◇こんなときに避難します。

- ・防災関係の避難指示があったとき
- ・自主防災組織などが判断したとき
- ・初期消火に失敗し、火災が広がったとき
- ・周辺地域に失火災が発生し延焼して危険なとき

※学校やデパート、電車やバスなど人が多くいる場所は、誘導員や先生の指示に従います。

## 地域で安全・救助

◇まず、自分自身、家族の安全を、

- ・次に、隣近所や災害弱者の方の救助を
- ・阪神淡路大震災で命を救った人は、殆どが近隣の住民の方々です。
- ・自主防災組織には、防災活動用の資機材が設置されています。

出典：千葉県HP

# 常盤平団地地区「いきいきサロン」

## 《はじめに》

10月6日、小金健康福祉センターでヘルスボランティア育成支援講演会「地域みんなで元気づくり」を聴講した。

高齢者の一般的な心理的特徴として「閉じこもり症候群」がある。対策として、軽度者向けの「通いの場」を徒歩圏内に開設する目論見であるが、松戸市では、計算上500か所程度必要となる。

民児協や社協では各地域で会食会やサロン運営を展開中である。社協は13地区の約40会場で開催し、民児協は全ての地区で月1回程度の会食会を行ない、サロンは8地区で運営している。

今回その中で常盤平団地地区で運営の「いきいきサロン」を訪問した。

## 《「いきいきサロン」》

常盤平駅前から始まる「けやき通り」沿いの「望のひろば」を取り囲む中央商店街の一角にサロンがある。

11時の開店と同時に訪問。初めての訪問で、2名の女性スタッフから歓迎された。何と数日にわたり民生委員をされている現役の大先輩方であった。入室料の100円を払えば、コーヒーや紅茶などお代わり自由とのこと。

コーヒーを頂いたが香り良く非常においしかった。率直に感想を口にする。「材料は吟味している」とのこと。サロン運営のお話を伺っていると、キャリアバックを引いたご婦人が買い物ついでに一休みに寄られた。小学生のことを「見かけた顔だ」と話して来られ、当方には面識は無かったが気軽に世間話が始まった。



「いきいきサロン」

常連さんのようで「ここは昆布茶も美味しいよ」との助言にしたがい、早速お茶の追加をお願いした。

その間に三人組の男性陣が入って来られた。サロン前の「望のひろば」で朝から縁台将棋で過ごし、サロンが開店したので寄ったとのこと。こちらも常連さんで、夏場などは縁台将棋をしているところへ出前を頼むこともあるとのこと。サロンは20名程度の広さで、それぞれの定席に陣取っておられた。

落ち着いた雰囲気、利用者同士で片意地張ることも無く和気あいあいと世間話をして過ごせるサロンであった。

## 《開設の経緯》

常盤平団地の孤独死ゼロ作戦の取り組み過程で「団地は部屋が狭く、お互い遊びに行き辛い」との声に答え、気軽に立ち寄れる「いきいきサロン」を商店街の一角に開設した。

営業時間は11時から17時で、年末年始を除く360日オープンしている。

平成19年4月15日開設で10年が経過、その間に年間延べ1万人以上の方が利用。さらに視察も多く、全国から見学がひっきりなしの状態、時には海外からの視察も来られる。

運営規則も整備され、みんなの憩いの場であること・有償ボランティアの世話人が日々2人1組体制で運営・サロンの入室料は1人100円・無料でコーヒーやお茶などを提供・弁当の持込みは自由、ただし禁煙／禁酒等々。

なお、家賃は地区社協と自治会が折半で負担している。地域見守り活動の一助となっている。

## 編集後記

民生委員活動に関わる情報や問題点を集めて、誌面に編んでいく作業は日常の手仕事に似ています。

家庭料理で食材を選んで購入し、切り方、焼き方、煮方、盛り付け、調味料の加減次第で素材が生かされます。

素材が時宜に合い、調理に愛情を注げば良いものが生まれるはず。その結果おいしく頂く術はすべて食べる側に委ねられます。TPOも味を左右する要素の一つです。

同じようなことが広報誌にも言える気がいたします。目につく機会は、減多にありませんが、時には家庭料理から離れて外食するように、共通する問題や必要な事柄に出会うかもしれません。「さらなる一歩」に浸かって見てください。(芹澤 満)

## 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

堤 美恵子様(享年70歳)

明第二地区 平成29年9月3日

水吉 俊枝様(享年63歳)

東部地区 平成29年9月8日